

映像と記憶、

出来事

— 諏訪敦彦氏をお迎えして —



諏訪敦彦 (すわのふひろ)

- 1960年 広島生まれ。
- 1985年 東京造形大学を卒業後、石井聰互や山本政志の作品に携わりながら、テレビドキュメンタリーの演出を手がける。
- 1996年 『2/デュオ』にて長編映画監督デビュー。
- 1999年 『M/OTHER』でカンヌ国際映画祭国際批評家連盟賞を受賞。
- 2001年 『H Story』(カンヌ国際映画祭正式招待)を発表。
- 2007年 『不完全なふたり』でロカルノ映画祭審査員特別賞を受賞。
- 2008年 東京造形大学学長に就任。
- 2009年 イポリット・ジラルドとの共同監督による『ユキとヒナ』(カンヌ国際映画祭監督週間正式出品)を発表。
- 2014年 東京芸術大学大学院教授に就任。

[プログラム]

第一部 学生セクション 13:00~14:30

学生発表

- 板井仁 「『2/デュオ』における主体性—ドゥルーズの超越論的経験論—」
- 片岡佑介 「鳥が鳴く空間—諏訪敦彦『H story』にみる物語世界・撮影現場・広島」
- 瀬尾尚史 「光の記憶 —シネマトグラフが記録したもの—」
- 正清健介 「ペドロ・コスタにみる世界における小津映画受容とその変遷」

監督からの応答とディスカッション

第二部 諏訪敦彦セクション 14:40~18:00

諏訪敦彦作品(劇場非公開)上映会

- 『ハリウッドを駈けた怪優・異端の人 上山草人』(1995/68min)
 - ビデオ・シナリオ『Hiroshima/私の愛する人...』(2000/45min)
- (上映作品は変更になる可能性があります。)

大学院生と諏訪監督とのトークセッション

2015年7月11日(土) 13:00~18:00

一橋大学東キャンパス 国際研究館 4F 大教室

[申込] 入場無料、申込不要

[主催] 一橋大学言語社会研究科

[問合せ] 井上間従文(一橋大学言語社会研究科准教授)



一橋大学大学院 言語社会研究科